

小型水素・燃料電池

「やまなしスタック」を活用した

製品（試作機）開発を行う

補助事業者を募集します

2次募集期間 10月5日～10月31日

世界中で脱炭素化の流れが加速する中、『水素』はCO₂を排出しないエネルギー源として注目されています。

『水素』を燃料として発電する小型の燃料電池を、世界的な水素・燃料電池の研究機関である山梨大学と山梨県の企業が共同開発しました。

山梨の技術で脱炭素化を後押しするため、県では、“やまなしスタック”を搭載した新たな製品を開発する企業を支援します。



小型燃料電池「やまなしスタック」

- ・定格出力 200W
- ・サイズ L194×W57×H69.5（突起部を除く）
- ・重量 661.5g
- ・同出力帯の燃料電池では世界トップクラスの発電性能
- ・リチウムイオン電池と比べ長時間稼働可能

事業概要

- ①テーマ設定型製品開発 1件
あらかじめ決められたテーマに沿った燃料電池搭載製品の試作機を開発する事業
 - ②自由提案型製品開発 1件
今後、国内外で大きな市場拡大が期待される製品等の試作機を開発する事業
- ※補助対象期間（開発期間）は、2カ年を限度としています。

補助金上限額 1件につき **650万円**（上限）

【補助率】 やまなしスタック調達費用10/10、その他製品開発費用等2/3

●詳細は募集要項をご覧ください。

https://www.pref.yamanashi.jp/seichosangyo/yamanashi_stack_hojyo/r4hojyo.html



【お問合せ先・申込先】

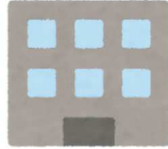
山梨県産業労働 成長産業推進課 新分野進出担当 ☎ 055-223-1565

補助事業の流れ（1年目例）

→ 必須
 - - - - - 任意



燃料電池
製造企業



申請者



山梨県

①事業計画(概要・想定事業費)の作成

提出
 アドバイス

②事前相談

③交付申請書
関係書類と共に提出

提出

④審査・補助金交付
可否決定

⑤補助事業開始

通知

※燃料電池は、開発状況に応じ、必要な時点で調達

要請

⑥専門家派遣

～2月末日

技術的
指導・助言

⑦実績報告書
関係書類と共に提出
～3月10日

提出
 確定・支払

⑧審査
必要に応じ現地調査

⑨中間評価審査

通知

開発2年目の交付申請へ



小型燃料電池
やまなしスタック

有償貸与
 賃借料
 制御回路等
共同開発

※燃料電池スタックには、
 ・防水FAN3個
 ・サーミスタ2個、
 ・圧力センサ1個
 ・電磁弁3個
 ・継手

がセットされています。
 燃料電池を電源として使用する
 ためには、開発製品に応じて、初期動作に
 必要な一次電池や水素センサー、水素ボ
 ンペなどの用意と制御基板の開発が別
 途必要です。

◆水素・燃料電池に詳しくなくても心配は要りません。
 ◆山梨県が持つ水素・燃料電池のネットワークにより、
 製品開発を全面的に支援します。

- ・水素・燃料電池関連の**専門家を派遣し、開発を支援**します。
- ・開発に必要な**水素や燃料電池関連機器の調達も支援**します。
- ・展示会等で**開発した試作機のPRを実施**します。
- ・県の他事業と連携し、**製品の実証実験等をサポート**します。